政策評価調書(個別票①-1)

【政策ごとの予算額等】

政策名	男女共同参画社会の形成の促進	評価に	方式	総合(実績·事業	番号	12				
歳出予算額(千円)	19年度	21年度				22年度要求額				
(当 初)	370, 377		362, 247		336, 665		363, 405			
(補正後)	370, 377		357, 182		349, 879					
前年度繰越額(千円)										
予備費使用額(千円)										
流用等増△減額(千円)										
歳出予算現額(千円)	370, 377 <0>		357, 182 <0>							
支出済歳出額(千円)	251, 789 <0>		236, 706							
翌年度繰越額(千円)										
不用額(千円)	118, 588 <0>		120, 476 <0>							
達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	【達成目標】 女性も男性もすべての個人が 【目標の達成度合いの測定方法】 個別票②に記載。		·ち合い、個 ^r	性や能力を	発揮できる「男女共同	参画社会」	の形成を促進する。			
政策評価結果を受けて 改善すべき点	男女共同参画社会の実現のためには、国民各界・各層の幅広い理解を得ることが重要である。このため、男女共同参画に関する 普及・啓発活動については、若年層や男性の参画が少ないことから、その参画を促進するような取組を行う必要がある。 また、女性に対する暴力の根絶に向けた取組においても、一層効果的な広報・啓発活動を行う必要がある。 地方公共団体や民間団体、国際機関等との連携を一層強化しつつ、幅広い層を取り込む形で男女共同参画の推進に取り組んでい きたい。									
評価結果の予算要求等 への反映状況	政策評価書作成の過程で無駄削減 数の削減等を図るなど、今後と					f状況を踏ま	ミえた各種印刷物の部			

政策評価調書(個別票①-2)

【政策に含まれる事項の整理、棚卸し調書との照合】

政策名				男女共同参画	画社会の形成の促進			(千円)			
	整理番号		会計	組織/勘定	項		事	頁	21年度 当初予算額	22年度 要求額	政策評価結果等 による見直し額
	Α	1 一般会計 内閣本府 男女共同参画社会形成促進費 男女共同参画の形成の促進に必要な経費					必要な経費	336, 665	363, 405	△ 14, 10	
+1 -+ 1 -	Α	2									
対応表に おいて● となって	Α	3									
となっているもの	Α	4									
				1	小計	'			336, 665 < > の内数		△ 14, 109
	В	1									
	В	2									
対応表に おいて◆ となって いるもの	В	3									
となっているもの	В	4									
		1	1	1	小計				< > の内数	< > の内数	
	С	1							< >		
対応まに	С	2						•••••	< >	< >	
対応表に おいて〇 となって いるもの	С	3							< >	< >	
いるもの	С	4							< >	< >	
					小計				の内数	の内数	
	D	1							< >	< >	
対応表に	D	2							< >	< >	
対応表に おいて◇ となって	D	3							< >	< >	
いるもの	D	4							< >	< >	
					小計				の内数	の内数	
					合計				336, 665		△ 14, 109
									の内数	の内数	

政策評価調書(個別票①-3)

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	男女	共同参	き画社会の形成の	促進			番号	12	
	整理番号			予算額(千円)					
事務事業名			21年度 当初 予算額	22年度 要求額	増減	見直し額(A) (B)+(C)-重 複	うち政策評価 結果の反映に よる見直し額 (B)	うち執行状況 の反映による 見直し額 (C)	政策評価結果又は執行状況の要求への反映内容
男女共同参画に関する普及・ 啓発	А	1	58, 657	40, 268	△ 18, 389	△ 11, 218		Δ 11, 218	執行状況を踏まえ、男女共同参画白書作成経費については、部数の見直し による削減を行った。また、男女共同参画ホームページ整備等経費につい ては、執行額に合わせて、システム維持管理経費、コンテンツ作成経費の 削減を行った。
男女共同参画を促進するため の地方公共団体・民間団体等 との連携	А	1	128, 186	97, 231	△ 30, 955	△ 1,861		△ 1,861	執行状況を踏まえ、男女共同参画フォーラム経費については、謝金の削減、男女共同参画社会づくりに向けての全国会議経費については、ポスター作成・掲載費の削減を行った。
女性に対する暴力の根絶に向 けた取組	А	1	76, 985	76, 637	Δ 348	△ 1,009		Δ 1,009	執行状況を踏まえ、配偶者からの暴力被害者支援セミナー開催経費については、一般競争入札の実績(平成21年度)に見合った削減を行った。
女性の参画の拡大に向けた取 組	А	1	29, 708	15, 197	△ 14, 511	△ 21		△ 21	執行状況を踏まえ、政策・方針決定参画状況調べ作成経費については、部 数の見直しによる削減を行った。
合計			293, 536	229, 333	△ 64, 203	△ 14, 109		Δ 14, 109	

政策評価調書(個別票②) (政策評価書要旨) 担当部局名:男女共同参画局 年 月 担当者(連絡先):吉田 直通:3581-2109 評価実施時期:平成 政策名 男女共同参画社会の形成の促進 男女共同参画に関する普及・啓発のため、各種啓発事業、「男女共同参画週間」の実施、広報誌及びホームページでの情報提供、各種表 彰の実施、研修等を行う 国際交流・国際協力の促進のため、国際的規範等の国内への浸透、セミナーの開催、情報収集・分析、我が国の施策・取組についての情 報発信、各種国際会議への出席等を行う。 男女共同参画基本計画 (第2次) に基づき、政府一体となって総合的かつ計画的な男女共同参画社会実現のための施策の推進を図る 政策の概要 女性に対する暴力の根絶に向けて、社会の意識を喚起し、女性の人権の尊重や女性に対する暴力防止のための意識啓発や教育の充実、被 女性のチャレンジ支援のため、様々な分野における女性の政策・方針決定過程への参画や女性の再チャレンジ等を推進するための総合的 な支援策を講じる。 【評価結果の概要】 (総合的評価) 男女共同参画に関する普及・啓発や、国際交流・国際協力の促進については、目標を堅実に達成している。また、女性に対する暴力 女性のチャレンジ支援に関する啓発事業については、参加者の満足度が目標を大幅に上回るものとなっている。 「2020年30%」の目標については、達成に向けて一定の進展が見られたが、今後さらなる取組が必要である。 (必要性) 急速に進む少子高齢化や社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会を実現するためには、女性も男性も、互いにそ の人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実 現することが必要である。 (効率性) 広報資料の印刷・梱包・発送、会議の開催等は、一般競争入札等によって効率的に実施した。 (有効性) 広報誌や各種パンフレット、啓発用DVD、ホームページ上での情報提供・収集等、多様な媒体を活用して、分かりやすい広報啓 発活動を展開したほか、各種表彰を行うことで、ロールモデルを提示するとともに、国民の関心を高めることができた。 国際交流・国際協力の促進については、我が国の取組発信を国際会議等の場で発信したほか、スウェーデンとのジョイントセミナーを開催し、両国の施策・取組事例の共有等を通じて活発な議論を行うなど、有益な経験の共有を図ることができた。 男女共同参画基本計画(第2次)の推進については、関連する法・制度の整備が進んだほか、様々な分野で男女共同参画の取組 が進められた。 女性に対する暴力の根絶に向けた取組については、「女性に対する暴力をなくす運動」のポスター・リーフレットを全国の地方公共団体に配布したほか、地下鉄等国民の目に止まりやすい場所への掲示に努め、効果的な広報を行った。また、地方公共団体における相談業務の質の向上を図るため、地方公共団体の相談担当者を対象として、各種セミナーを実施した結果、各参加者の8~9 割から「良かった」との評価を得た。 女性のチャレンジ支援については、女性国家公務員の I 種試験等採用者が着実に増加する等の成果が見られた。 (反映の方向性) 男女共同参画社会の実現のためには、国民各界・各層の幅広い理解を得ることが重要である。このため、男女共同参画に関する普及・啓発活動については、若年層や男性の参画が少ないことから、その参画を促進するような取組を行う必要がある。 また、女性に対する暴力の根絶に向けた取組においても、一層効果的な広報・啓発活動を行う必要がある。 地方公共団体や民間団体、国際機関等との連携を一層強化しつつ、幅広い層を取り込む形で男女共同参画の推進に取り組んでい きたい。

【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】

	達成目標	指標名	単位	基準値	爭	実 績 値			達成目標・指標の
				(年度)	18年度	19年度	20年度	(年	設定根拠・考え方
		「男女共同参画社会 づくりに向けての全 国会議」及び「男女 共同参画フォーラ	%	70	_	70	76		平成19年度の実績 値を踏まえて設定
政策に関する評価		ム」におけるアン ケートの肯定的な評 価の割合		19年度				20年度	
結果の概要と達成 すべき目標等 		内閣府男女共同参画 局ホームページへの アクセス件数	件/月	33000	32000	33000	32000		平成19年度の実績 値を踏まえて設定
				19年度				20年度	
		「国連婦人の地位委員会」等の男女共同		5	4	5	5		平成19年度の実績 値を踏まえて設定
		参画に関する国際会議等への出席回数		19年度				20年度	
		国際シンポジウム・セミナーのアンケー	%	83. 3	_	83. 3	82. 5		平成19年度の実績 値を踏まえて設定
		トにおいて肯定的な 評価の割合		19年度				20年度	
	女性も男	男女共同参画基本計画(第2次)に盛り込まれた施策の推進状	_	_	_	_			次) のフォロー
	性もすべ ての個が、 ず 責任を						の推進状		りこま得れた施策 の進捗状況を確認 することを目標値 として設定。
	分いや発る共社が、能揮「同会」	ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではないない。 ではないない。	%	基礎: 88.7 応用: 91.0 管理職: 84.5	基礎: 92.4 応用: 90.7 管理職: 88.1	基礎: 88.7 応用: 91.0 管理職: 84.5	基礎: 93.3 応用: 99.1 管理職: 83.0		平成19年度の実績 値を踏まえて設定
	形成を促			19年度				20年度	
	進する。	DV全国会議における 参加者アンケートに おいて「有益だっ	%	_	_	_	85. 7		平成19年度の同種事業(女性に対する暴力に関するシャ
		た」とする評価の割 合						20年度	ンポジウム)の実 績値を踏まえて設

		女性に対する暴力に 関するポスター等の 配布箇所数	箇所	_	_	_	全地方公共団体	全地方公共団体	女性に対する暴力 をなく地に対す運動団は 管連携を発を行う 意識啓発を行う) を踏まえて設定	
		社会のあらゆる分野 における指導的地位 に女性が占める割合							男女共同参画基本 計画(第2次)に 掲げた当該項目の 目標を設定	
		女子高校生に対する 理工系への進路選択 支援のための啓発事 実におけるアンケー トの肯定的な評価の 割合	%	_	_		94. 1	20年度	平成19年度に当局で実施した事業 (女性に対する暴 力に関するシンボ ジウム)の実績値 を踏まえて設定	
	施	政方針演説等		年月	目				記載事項(抜粋)	
関係する施政方針 演説等内閣の重要	第168回	第168回国会施政方針演説				女性も男性もすべての個人が、喜びや責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向け、取り組みます。				
政策(主なもの)	第169回国会施政方針演説			平成20年	特に女性の参画が進んでいない分野に重点を置いて、 成20年1月18日 すことができるよう、「男女共同参画社会」の実現に まいります。					